

南小だより

minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp

令和3年6月1日

6月号

さいたま市立南浦和小学校
電話 048-861-3781



〇〇合い

校長 小野 圭司

5月29日(土)には、好天の中、多くの保護者の皆様に見守られながら運動会を実施することができました。ご多用の中、温かなご声援をお送りいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。また、地域の皆様にも子どもたちの活躍を見守っていただきかけたところですが、今年度もコロナ禍ということでご遠慮いただいた次第です。そこで、少しの文面ではありますが、当日の様子を簡単に伝えさせていただきます。

まず、3・4年生の運動会では、花笠踊りに取り組みました。姿勢や隊形を変化させながら、堂々とした動きを見せてくれました。笠を背中で回す動きがとてまかつよく、子どもたちも上手くいっただことに満足している様子でした。

次の1・2年生の運動会では、音楽に乗って思い切り体を動かし、可愛らしさ全開のダンスを披露しました。何をやっても可愛い1・2年生ですが、紅白玉やフラッグを持ってリズムよく踊るため、可愛らしさ倍増です。素敵な笑顔もあり、一人ひとりがとても輝いて見えました。

最後の5・6年生の運動会では、フラッグを使った表現で心を一つにして息の合った素晴らしい作品に仕上げていました。特に「動」と「静」のギャップのおかげでメリハリのある動きが際立っていましたので、流石、高学年の演技だなあと感心しました。さらに、フラッグを大きく振る音が響き、力強さも感じました。

この他にも各学年で徒競走や障害走、リレーなどの内容に取り組み、子どもたちは仲間と力を「高め合い」ながら、これまで一生懸命に学習してきた成果を十二分に発揮できたのではないかと思います。

さて、何事も相手がいてこそ楽しさや満足感を味わえるものです。読書や映画視聴など、一人で十分に楽しめることもあります。おしゃべりやキャッチボールなど相手がいてこそ満足感を得られるものもあります。学校ではコロナ禍ではありますが、隣の友達と自分の考えを「伝え合う」ことやクラスの目標を「話し合う」こと、教室をきれいにするために「助け合う」ことなど様々なことを仲間とともに進めています。

しかし、相手がいるとトラブルになることもあります。「伝え合い」や「話し合い」、「助け合い」が上手いいかないことはありますが、上手いいかないからといって人とのかかわりをなくすのではなく、子どもたちの社会性やコミュニケーション力を高めるために積極的に行いたいことです。多少のリスクがあったとしても、人とかかわることによって得るものは大きいはず。また、「伝え合い」や「話し合い」、「助け合い」も、相手がいなければ「伝えるだけ」「話すだけ」「助けるだけ」の一方通行となってしまいます。相手がいてこそ仲間がいてこそ実現できることです。相手がいてこそ実現できる素晴らしさを子どもたちにも感じてもらいたいと思います。

話は変わりますが、皆さんもご存知のとおり、さいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」としています。6月は年度当初の緊張感がとれ、ストレスを抱え込んだり、人間関係で悩み始めたりすることの多い時期であり、いじめが増える傾向にあると言われています。本校といたしましても、「伝え合い」や「話し合い」、「助け合い」などの「〇〇合い」を日々の授業や活動に積極的に取り入れ、仲間とかかわる中で、よりよい人間関係を構築できる力を育成していきたいと考えています。なお、お子さんの様子で心配なことなどがありましたら、遠慮なく担任等にご相談いただければと思います。家庭と学校とが連携して、そして時には地域のお力も借りながら、子どもたちを育ててまいりましょう。今月もどうぞよろしくお願ひいたします。